

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」春日部校			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 12月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	69名	(回答者数)	61名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 12月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまの特性や様子に応じた柔軟な支援の実施	一人一人の支援内容について職員全体で情報の共有と検討を行っています。また、指導員の経験や得意なことを活かした支援を提供するように心掛けています。	支援の振り返りや日々のアセスメントを通して、より良い支援を提供するための具体的な話し合いを多くできるようにします。
2	保護者様との情報共有を丁寧に行っていること	お子さまの様子や支援内容について保護者様に丁寧な説明を心掛けています。また、ご要望に対しては可能な限り迅速に対応できるように職員間の情報共有を密に行っています。	引き続きコミュニケーションを多く取り、ご本人・保護者様が抱える課題やお悩みに寄り添った対応を心掛けていきます。
3	多くのお子様楽しく通所していただいていること	明るく気持ちの良い挨拶をすることや、支援以外でも積極的に関わりを持ち、また来たいと思ってもらえるように、職員全体で意識しています。	安心して通所していただけるように教室環境の更なる改善や支援内容・支援プログラムの見直しを行っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	計画的なイベントの実施	中・長期的な事業所運営の計画の着手が遅れていること。	事業所内ミーティングで事業所の全体計画を作成し、計画に沿って進めていけるようにします。
2	完全なバリアフリー化ができていない	建物の構造上の問題で対応が難しいところ	段差に対しては職員が近くで見守れるようにしていきます。日常の中で少しでも危険だと感じたことは迅速に検討し、より良い環境を整えられるようにしていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」春日部校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 69名

回収数 61

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	54	7	0	0	・ウツフロア、パーテーション仕切り、収容人数の都合上難しいのかもしれませんが、あまり動線がよくない。 ・パーテーションがあり、集中しやすい環境だと思います。	・限られたスペースの中でお子様に必要な活動が行えるように工夫を重ねていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	53	5	0	3		・法令を遵守し、余裕のある配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	54	7	0	0	・机の大きさをすぐに変更していただき、本人の体格に合い集中して取り組みようになり良かったです。	・ご要望や状況に合わせて、柔軟に環境調整を行えるように配慮してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	57	4	0	0	・子どもの入れ替え時に机やテーブル、学習した物品などの消毒を徹底してくださっています。	・毎日清掃担当を決めて行い、清潔で心地よく過ごせるように配慮しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	59	2	0	0	・兄弟でお願ひしておりますが、先生方はそれぞれの子どもの特性に合わせて対応してくださっています。 ・子どもは通所を楽しみにしています。 ・やって欲しいこと(困りごと)について、LINE等ですぐに相談でき、対応していただけるのありがたいです。	・お子様の気持ちに寄り添いながらも、挑戦することや「できた」の経験を重ねていけるように支援の質を高めていけるよう取り組んでいます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	57	4	0	0		・行政の規定に基づき、支援プログラムの公表を行っています。支援プログラムに沿った支援を提供できるように事業所で話し合いを行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	57	2	0	2		・今後ご利用者様との対話を重ね、より良いサービスを提供できるよう取り組んでいます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	59	2	0	0	・母の気持ちにも寄り添ってくださり、アドバイスをいただいております。	・ガイドラインの内容に基づき「本人支援」「家族支援」「移行支援」について網羅した計画を作成しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	55	3	0	3		・支援計画はすぐに確認できるよう適切に管理し、日々の支援に活かせるよう配慮しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	44	13	0	4	・イレギュラーをお願いしたこと以外は、固定化しているイメージがあります。	・状況に合わせてプログラムの選択等を取り入れ、固定化されないよう工夫しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	10	33	9	・事業所の事業内容からしたら上記は難しいですし、親側も求めておりません。自治体の子ども会、子ども食堂など参加しています。	・ご要望や機会がありましたら検討していきます。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	58	0	0	3	・丁寧に時間をかけて説明してくださっています。	・契約時には管理者が必要な説明を丁寧に言うよう心掛けています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	58	3	0	0		・児発管が必ず書面を提示して説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	39	10	3	9	・ペアレントトレーニングはやってみたいので、あればお知らせいただきたいです。	・ご要望に応じて、情報の提供やご対応ができるように配慮いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	57	2	0	2	・支援後は詳細なフィードバックがあります。先生方は、親が気づかない事も気づいてくださるので、ありがたいです。LINE等で話せる機会があるので、助かります。	・今後もお互い、LINE、電話等でお子様の共通理解を図れるように取り組んでまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	49	9	1	2		・フィードバックやご要望に応じてご家族支援を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	58	1	0	2		・今後もお子様、保護者様のお話をたくさん聞かせて下さい。より良い育ちのサポートをできるように努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	34	12	0	15	・きょうだい向けイベントの存在を知らなかったです。 ・きょうだいと一緒に入れる枠を提案して下さるのは、いつも大変ありがたいです。	・お子様のご利用だけでなく、保護者様やご家族を含め交流してけるように取り組んでまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	55	4	0	2	・学校でのトラブルなど、相談事も迅速に対応してください。先生方に相談できるので、非常にありがたいですし、また心強いです。 ・いつも受け入れて下さり、すぐに対応して下さいのありがたいです。	・事業所にご相談があった時は迅速に対応できるよう職員全体で意識しています。気軽に相談していただけるよう口頭や掲示、メッセージにてお伝えしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	53	3	0	5		・状況に応じて臨機応変な対応を今後も行っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	47	5	2	7		・毎月ホームページの更新と不定期でインスタグラムを発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	56	1	1	3	・利用者の記名が見えるもの（書類等）は、伏せて置く配慮をして欲しい。 ・子どもが作品に自分の名前を書いた時、教室内に掲示するときは名前を隠してくださいました。細かなところにも気づいてくださいます。	・鍵付き書庫にて個人情報を管理し、取り扱いには十分留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	53	3	0	5		・各種研修及び訓練の実施と、必要に応じた見直しを行ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	35	9	4	13		・事業所で取り組むだけではなく、保護者様に分かりやすいよう情報提供を行ってまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	52	2	1	6		・契約時、研修・訓練後等の機会にお伝えしています。危険と思われるところはすぐに対策を行うように心掛けています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	49	3	0	9	・事故が起きたことがないので分からないですが、対応してくださっていると思います。	・今後も安全面には十分注意を払い運営してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	60	1	0	0	・兄は○曜日はきらり！と覚えており、通所を楽しみにしています。 弟は○○先生いるかな〜など先生に会えることも楽しみにしています。寄り添って支援してくださるので、兄弟共にできることが増えました。	・お子様が安心して楽しく通所できる居場所を目指し、より良いサービスを提供できるように努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	53	8	0	0	・行くまでは面倒そうですが、行ったら楽しいようです。	・お子様が安心して楽しく通所できる居場所を目指し、より良いサービスを提供できるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	55	4	0	2	・兄弟共に出来ることが増えました。指示も少しずつ通るようになり、時計も読めるようになりました。また、言葉の理解力が伸びたので、見通しがたつようになり、日々の生活が楽しくなりました。先生方のご支援のおかげです。今後ともよろしくお願ひします。 ・内容は満足していますが、時間が足りないと思うことがあります。	・可能な時は延長支援を行えるように調整させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」春日部校				公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員に対して余裕のあるスペースを確保して支援を行っています。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		常に基準以上となるように、適切に職員を配置しています。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	支援スペースと事務スペースの区別を明確にし、視覚的に分かりやすいように表示しています。	玄関・入口に段差があるので、危険の無いよう見守る等配慮しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行い、清潔で心地よく過ごせるように配慮しています。	通常の清掃範囲以外の汚れに気づかないことがあるため、美化意識を高めていきます。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋はありませんが、状況に応じて個別スペースを使用できるように、パーテーションを使用する等柔軟に対応しています。	今後もお子様の状況に応じて臨機応変に環境調整を行っていきます。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		業績評価シートや事業所内ミーティングを実施することで個人、全体で業務改善に参画する機会を持っています。	振り返りができていないこともあるため、漏れなく取り組むように心掛けていきます。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表のご意見や日々のフィードバックを事業所内で共有し、業務改善につなげられるようにしています。	評価表のご意見を真摯に受け止め、より良い事業所運営を目指していきます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日実施している事業所内ミーティングで意見を出し合い業務改善につなげています。	今後もしできる所から改善を行い、より良いサービスを提供できるように心掛けます。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は実施していません。	必要な場合は実施いたします。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内、委託先による研修は計画的に実施されていて、参加する機会が確保されています。	今後も定期的に研修参加を行い、支援やサービスの質の向上を図ります。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		行政の指示に基づいて公表を行っています。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントとニーズの聞き取りを丁寧に行い、個別支援計画を作成しております。	今後も聞き取りを丁寧に行い、必要に応じて見直しを行いながら計画を作成してまいります。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング、支援計画会議を必ず実施し、全職員の共通理解を図っています。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個人ファイル内に保管し、常に確認できるように配慮しています。	今後も全職員が計画を把握した上で支援を行えるように取り組んでまいります。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動観察によるインフォーマルなアセスメントを中心に実施し、事業所内で共有・確認を行っています。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		行政指示に基づき、各項目のねらいや支援内容を設定しています。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		モニタリングや事業所内ミーティングを通して職員全体で確認・共有しています。	今後もお子様に合わせてより良いプログラムを提供できるように話し合いや立案を行っていきます。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子さまの様子や状態に合わせて、活動プログラムの見直しや変更を実施しています。	製作やプログラムの選択等を取り入れ固定化されないよう工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	個別療育が中心のため、集団活動は不定期開催のイベントのみとなっています。	集団イベントを計画的に実施できるように進めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		事業所内ミーティングにて常に確認し、チームで連携して支援を行っております。	支援後の申し送りは必ず実施し、次の支援に反映できるようにしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援の振り返りは必ず実施し、共有事項の確認を行っています。	今後も支援の振り返りを継続して行い、職員全体で共通認識をもてるように留意します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録は漏れの無いように確認を行っています。記録に基づいて支援の検討や改善も行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、必要に応じて見直しや変更を行っています。	今後も必要に応じて、また定期的に計画の見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインに基づき自立支援、製作活動、余暇の充実等を組み合わせ支援を行っています。	地域とのつながりを意識して支援を行っているように取り組んでいます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		支援を通して自己選択を行なう機会を設けることで、自己決定をする力を育てるための支援を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		実際に支援し、お子様の状況をよく理解している指導員が対応しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医療機関を定めて重要事項説明書に明記しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様やインターネット等を通じて情報収集を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	就学前にご利用されていた事業所との連携はとっていません。	ご要望や必要があれば丁寧に対応してまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	対象のご利用者様がおりません。	ご要望や必要があれば丁寧に対応してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	実施していません。	必要な場合は検討してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	個別療育のため実施していません。	ご要望がありましたら検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		主に管理者が積極的に参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバックや相談支援により日頃からお子様の発達状況や課題についてコミュニケーションを密にとっております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレント・トレーニングの研修は実施していませんが、情報提供やフィードバックを通しての家族支援は実施しています。	ご要望があれば検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		必要なタイミングで丁寧に説明するよう心掛けております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		お子様や保護者様からのご意向はご希望に応じてすぐに聞き取りを行い、ご対応しています。	今後もお子様、保護者様の意向を確認しながらより良いサービスを提供できるように心掛けてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		児童発達管理責任者が必ず説明し、保護者様の同意を得ています。	今後も計画に基づく支援内容の説明を丁寧にさせていただきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった際は必ずお話を丁寧に伺い、必要と思われる助言や支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者様の要望に合わせて座談会を実施しました。不定期開催のイベント時にきょうだい同士の交流ができるように配慮しています。	ご要望に応じて今後検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情窓口を設置し、重要事項説明書に明記しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページのブログやInstagram等のSNSを定期的に活用するとともに、必要に応じてお知らせの配布等を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関するものは全て鍵付き書庫にて保管し、事業所全体で取り扱いに留意しています。	名前等が他の人の目に触れないように個人情報の取り扱いには十分配慮していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様や保護者様に応じて配慮が必要な場合は支援プログラムや関わり方を工夫しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	個別療育のため実施していません。	地域の方も参加できるイベントの開催などできる所から
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		それぞれ策定し、重要事項説明書によって周知しております。策定された計画に沿って訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		会社が策定したBCPに沿って定期的に研修や訓練を実施しています。	今後も法令に基づき必要な訓練を実施してまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		万が一の際の対応方法を事前に保護者様に確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	事前の確認は行っていますが、対象のご利用者様はおりません。	食事の提供は行っておりません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、計画に基づく訓練を実施しています。	研修・訓練は継続して実施していきます。事業所内の点検は定期的に行います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難経路や避難場所について周知を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起きたときは記録に残して事業所内で共有をし、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		会社の研修及び委員会の活動などにより適切な対応をとるようにしています。	法令に基づき、研修・訓練は継続して実施していきます。事業所内の点検は定期的に行います。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		重要事項説明書に明記すると共に、委員会の設置や研修を実施しています。	法令に基づき、研修・訓練は継続して実施していきます。事業所内の点検は定期的に行います。